



地域への誇りと 愛着を取り戻す「働く場」作り



- ①雇用の受け皿になりたいという佐藤社長は、従業員はすべて入社当日から正規雇用を徹底。年齢に関わらず、コミュニケーションを大事にできる人を採用している。当然チームワークもばっちりだ。
- ②③寿司種は鮮度が命だけに手際の良い一次加工風景。従業員のおよそ半数は水産加工未経験者だったとは思えない。
- ④⑤成形しゲソなどを取り除いた「ベタ」を作るのが一次加工。この後、顧客のニーズに合わせて刺身等に加工される。
- ⑥清潔で明るい雰囲気工場内には従業員の要望でBGMも流れる。来年度には水産加工業ではあまり例のないISO9001の取得を目指し、マニュアルづくりに着手。
- ⑦マイナス40度で瞬間凍結、素材の鮮度を保つ最新鋭のトンネルフリーザー。
- ⑧釜石に揚がった新鮮な真イカやヤリイカ。海水処理した刺身は多くの顧客に好評で、取引先も増え始めている。

発信!!
いわての
力こぶ

【支援企業紹介】釜石市
釜石ヒカリフーズ株式会社

昨年8月に創業し、今年7月工場竣工を迎えた釜石ヒカリフーズ。震災後における岩手県内初の新規水産加工業者として釜石市と立地協定を締結し、市内唐丹地区唯一の新規設立企業としてスタートした。地域産業の復興と雇用の維持を掲げ、自力での起業を達成した佐藤正一社長を支えたものは、長年培ってきた人脈と信頼関係だった。

震災の傷跡深い釜石市唐丹に 誕生した、新しい水産加工会社

陽光を受けて輝く海の岸边には、津波に押し倒された巨大な防潮堤が今なお残されている釜石市唐丹地区。東日本大震災の傷跡は深く、復興へと歩み出したばかりのこの地に昨年8月誕生したのが、水産加工会社の釜石ヒカリフーズ株式会社である。

小白浜に立つ本社兼工場は鉄骨造二階建、最新鋭のトンネルフリーザーや真空包装機等を備え、釜石で水揚げされたイカやサンマ、鮭、水ダコなどを原料に高品質の業務用寿司種などを製造する。工場は今年9月に本格稼働したばかりだが、生産体制の整備と拡充が着々と進められているところだ。

「私たちの仕事の原料は、すべてこの浜にあります」。代表取締役社長、佐藤正一さんがそう話すのは魚介類のことだけではない。同社では社屋の前わずか15メートル先に広がる海から海水をくみ上げ、洗浄や成形などの1次処理に使用している。イカは真水で処理すると旨味が抜けてしまうが、塩分やミネラル分が含まれる海水なら素材の味を損なわない。生食する刺身類はもちろん同社ではイカの一夜干しにも海水を使用、安価な中国産との差別化に成功した。

寿司種や一夜干しに加え、10月からは唐丹漁協と協力し秋鮭の加工も始まった。また佐藤社長は「ウニやアワビの加工にも取り組んでいきたい」と展望を語る。根底にある思いはただひとつ、釜石の復興なのだ。

地域へ定着するための「場」を! 強い願いに金融機関が動いた

「待っている人のため、やらなくてはいけない。それだけであとは必死でした」。これまでの思いを語る佐藤社長。震災を機に起業した。勤務先の水産加工会社が被災、出身地の盛岡に戻る選択肢もあったが、釜石を去ることにためらいを感じていた。全てを失った町から、自分ひとり離れていいのか…。決心したきっかけは、仕事を通じた漁協や被災した地域の方々の「会社を作って欲しい」という声だったという。

「震災でさらに人口流出が進む唐丹をなんとかするには水産業の復興が欠かせない。地域に対する誇りを取り戻すため、働く場と生き甲斐を作ろうと思ったのです」。

しかし決意の船出は厳しかった。頼みにしていた国のグループ補助金は、産業の復興と被災者の雇用とを目的にしても、

新規に会社を設立する場合はあてはまらないことが判明したのである。佐藤社長は自力での起業にむけて奔走、ついには政策金融機関と地元民間金融機関、そして当センターという“三位一体”支援を現実のものとした。工場建設資金から運転資金、そして設備貸与にまで至る支援は、今後の復興のモデルケースとなっていこう。

復興途上の被災地で会社を興す。不可能を可能にした理由を、佐藤社長は「人脈と信頼関係」と振り返る。金融機関はもちろん、工場用地の確保や事業展開には漁協や地元行政との長年の繋がりが生かされた。また東北共益投資基金からは経営アドバイザーが派遣されるなど新たな人脈も広がっている。なにより共に歩む従業員の存在が、佐藤社長の大きな力になっている。

人の力を結集した地域復興。佐藤社長のチャレンジは、内外へ共感の輪を広げている。

我が社の
力こぶ
はコレ!
「何が何でも成功する」
という思いが原動力

自分でやらなきゃいけないという思いが強かったのは、国からの補助金がなく安穩としていられなかったから。でなければ挫折していたかもしれません。ここからがスタートですが、お世話になったみなさんのために、絶対に成功させます!



代表取締役
佐藤正一

会社名 釜石ヒカリフーズ株式会社
所在地 釜石市唐丹町字小白浜
568番地
電話 0193-55-3663
代表者 佐藤正一
創業 平成23年8月
従業員 23名
業種 「いか」「さんま」「鮭」「水たこ」を中心原料とする高品質の業務用寿司種の加工および販売